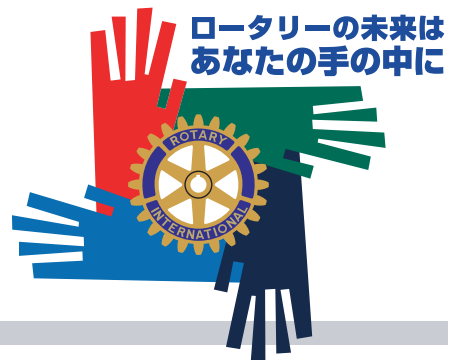


国際ロータリー第2840地区 2009-2010年度

ガバナー一月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER
to Rotary club presidents and secretaries



牛久保ガバナー事務所

〒372-0034 群馬県伊勢崎市茂呂町1-389 クレインパーク山楽荘内
TEL.0270-21-2840 FAX.0270-21-2841
E-mail.ushikubo@rid2840.jp URL.http://www.rid2840.jp

Vol.7
2010 1



今月の絵画 ●塔への道 〈水彩〉40号 ガバナー 牛久保哲男/画

CONTENTS

新年を迎えて

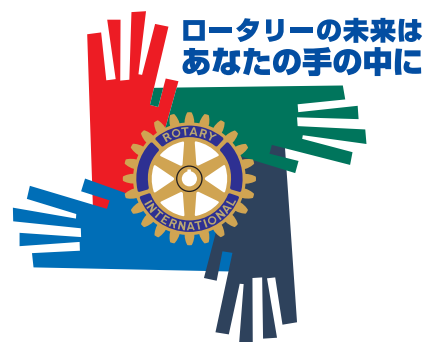
2009-2010年度ガバナー 牛久保哲男	1	『そらぷちキッズキャンプ』支援に関するお願い	12・13・14
今月のお知らせ	2	ロータリーカード入会のお願い	15
ロータリー財団セミナー (Zone1.2.3) 報告	3	新入会員紹介	16
第19回 地区 茶の湯倶楽部研修会報告	4・5	地区主要行事一覧/周年行事予定クラブ	17
米山記念学友会クリスマス会開催報告	6	文庫通信 (267号)	18
ガバナー公式訪問報告/富岡中央RC	7	出席報告	19
ガバナー公式訪問報告/群馬境RC	8		
ガバナー公式訪問報告/伊勢崎RC	9		
ガバナー公式訪問報告/伊勢崎中央RC	10		
ローターアクト第10回地区年次大会のご案内	11		

新年を迎えて



国際ロータリー第2840地区
2009-2010年度

ガバナー 牛久保 哲男



2009-2010年度
国際ロータリーのテーマ

新年明けましておめでとうございます。

国際ロータリー第2840地区 2,000名 全会員の皆さんにおかれましては新しい年を迎えて、心も新たに希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は国際協議会に始まり、地区チーム研修、PETS、地区協、公式訪問、地区大会等11月までは一瞬に過ぎてしまいました。しかしながらこの期間はガバナーとしての充実した有意義な時でした。公式訪問に於いては多くの会員の皆さんとの交流ができたことは私の当初の目的であり、これからの人生の大きな資産になりました。また、会員増強をお願いしてまいりましたが、各クラブ共に積極的に活動していることに感謝申し上げます。

さて、新年を迎えて会員皆さんは昨年来の経済不況により、必ずしもよい新年を迎えられない人もおられるかと思えます。しかしながら沈む太陽があれば日の出を迎える太陽もあります。どうかロータリー活動を続けられるように努力されることを期待しております。

さて、私の年度も後半に入りました。そして、後半は前半のセミナーや協議会で学んだことを実行に生かしてもらう時期です。ジョン・ケニー会長は**クラブに自治権**があるといっております。私はロータリー活動には正解はないと思っております。あるのはただ、あなたの年度をどのように**活動したか**、どのような**奉仕ができたか**があるだけです。あなたの年度の目標を再確認してみてください。

私の年度の目標は会員増強を最大のテーマとしております。会長、会員増強委員長の皆さんには、どうか今一度、**年初の目標**を達成できるように**クラブ全員**の盛り上げをお願いいたします。あなたのクラブの未来はあなたの手の中にあります。ご活躍を切にお願い申し上げ年頭のご挨拶といたします。本年もよろしく願いいたします。

2009-2010年度 国際ロータリー第2840地区

今月のお知らせ

- ① ガバナー事務所は1月6日(水)より通常業務となります。

〈AM9:00~PM5:00迄〉

- ② 「第3回ガバナー諮問委員会並びにガバナーエレクト壮行会」

日 程：2010年1月9日(土)

受	付	15:30~
諮 問 委 員 会		16:00~18:00
福田ガバナーエレクト壮行会		18:00~19:30

場 所：ホテルメトロポリタン高崎
[高崎市八島町222/TEL 027-325-3311]

- ③ 米山奨学生選考会

日 時：2010年1月17日(日) 9:30~

会 場：前橋ホテル

- ④ ロータリー財団・地区補助金審査会

日 時：2010年1月31日(日)

会 場：クレインパーク 山楽荘

- ⑤ 地区運営資金・事業資金送金案内(下期)

振込/1月末日までにガバナー事務所口座へ

- ⑥ 各種表彰推薦受付

- R I 意義ある業績賞 2月 末日締切
- R I 会長賞 3月 末日締切
- R I 広報賞 4月 末日締切
- R I 会員増強推進計画の表彰 4月15日締切

※ガバナー事務所へ提出して下さい。

国際ロータリー第2840地区 2009-2010年度

ロータリー財団セミナー(Zone 1.2.3)報告

担当副幹事 森田 高史

- 1.日 時：2009年11月17日(水) 10：00開会／17：00閉会
- 2.会 場：ホテルグランパシフィック LE DAIBA～B1F「パレ・ロワイヤルC・D」
- 3.参加者：301人
- 4.内当地区参加者：7人
 牛久保哲男ガバナー(伊勢崎)、高木貞一郎地区財団委員長(館林)、
 横山公一ZCC(ポリオゾーンチャレンジコーディネーター)(沼田)、
 福田一良ガバナーエレクト(前橋西)、安藤震太郎ガバナーノミニー(高崎北)、
 数納篤紀次年度担当副幹事(前橋西)、森田高史地区委員会担当副幹事(伊勢崎)

ロータリー財団セミナー(Zone 1.2.3)が表記の通り開催されました。

午前中は、財団プログラム全般について、特に日本における各プログラムとの国際比較や、MG(マッチンググラント)の予算執行状況、WF(国際財団活動資金)の資金の状態について説明が行われ、合わせて財団の資金の運用状態についても報告が行われました。

昼食を挟んで、インドにおけるポリオ撲滅の活動を紹介するDVD(40分)が流され、出席者がその必要性を再認識するには、効果的な内容のものであったと感じました。

また、世界平和フェロー奨学生の近松佳朗さんよりスピーチが行われ、素晴らしい活動内容が報告されました。

最後に、本年度で定年となられる片岡暎子財団室長が、長年に渡るロータリーとの関わりについて、感謝の気持ちを述べられるとともに、感極まって感涙にむせんだ姿が印象的でした。



【セミナー会場の様子】

〔主なプログラム〕

10:00 開会	13:50 恒久基金の重要性と現状
10:03 主催者挨拶及び来賓紹介	14:10 未来の夢計画について
10:30 財団プログラム等全般	14:30 ロータリーカードの推進
11:25 ロータリー財団の財政	14:45 ロータリー平和センターの現況
11:35 ロータリー日本財団の動向	15:00 ロータリー平和フェローススピーチ
11:45 2009-10年度TRF年度目標	15:35 質疑応答
12:00 昼食	16:50 講評
13:00 ロータリーの2億ドルのチャレンジ	17:00 閉会



【セミナーを受ける牛久保ガバナーと地区役員】



【セミナーを受ける高木R財団委員長】

第19回 地区 茶の湯倶楽部研修会報告-1

- 1.日 時：2009年12月5日(土) 午前11時～午後1時
- 2.会 場：クレインパーク 山楽荘 [伊勢崎]
- 3.席 主：森田 宗均 パストガバナー
- 4.出席者：45名 (地区内14クラブ)

吹く風もいっそう身にしみるようになりました年の瀬、今回で19回目となる茶の湯研修会が、牛久保ガバナーのお膝元、地区事務所の所在地でもある、伊勢崎のクレインパーク山楽荘、カサブランカの間で行われました。

今回は、洋室での茶の湯ということで、席主をお務め頂いた森田パストガバナーも、茶席としての設えに、大変悩まれたそうですが、当日は、白の大理石が張り詰められたブティックのような清々しいお部屋で、写真にありますような立派な掛け軸や、当日摘んでこられたというお花を設え、素晴らしい茶席の演出がなされました。

まずは、席主から、30分近くに渡りお茶席の基礎的な知識やお作法につき、後記の通り「お茶の雑学」と題して寸話を頂きました。

掛け軸の「宿昔青雲志」の意味(昔は青雲の志を抱いていたが、今また心新たに志を抱くのもよいのではないか)や、お花は朝摘みで開き始めたところがよい(会場でも時間とともに開いていく)ことや、葉の設えについても照りがあり落ちかかっているものが珍重されるとの由、お茶席の心細やかな感傷に浸ることができた思いが致しました。

寸話の後には、2班に分かれて、それぞれにお菓子を頂きお茶を点(た)て、またお食事を頂きました。喧騒を極める日々を過ごしているロータリアンにとって、心洗われる時間ではなかったかと感じました。

今回は参加者も多く、地区内の各クラブの会員相互間の交流という点では、極めて効果的な研修会であったものと思います。

次回は20回という節目にもなりますので、更に楽しみにしたいと思います。

ご協力ありがとうございました。

(地区担当副幹事 森田 高史)



【ご挨拶される牛久保ガバナー】



【朝摘みの乙女椿とブルーベリーの葉】

第19回 地区 茶の湯倶楽部研修会報告-2 ～ 寸話「お茶の雑学」抜粋～

同倶楽部総括世話人 パストガバナー 森田 均

1. お茶の種類

- (1) 薄茶:「点(た)てる」もの(一人分、茶杓に山盛り1.5杓)
- (2) 濃茶:「練る」もの(一人分、茶杓に山盛り3杓)

2. お茶の点て方クイズ

- (1) 茶碗に入れる湯は熱い方がよい?
- (2) 茶筌(せん)の振り方とその回数?
- (3) アワは多いほうがよい?
- (4) お茶を点てる時の茶碗の正面はどっち?

3. お茶の種類、形など

- (1) 楽茶碗(筒、馬だらい、平もある)
- (2) 京焼茶碗(色絵茶碗とも)
- (3) 井戸、熊川、金海など茶碗の種類は多い

4. 茶筌の種類

- (1) 真
- (2) 行:100本立、80本立、数穂、荒穂



【頂くのが惜しいような鶯鶯のお菓子】



【「宿昔青雲志」の掛け軸】



【席主の導きでお茶を点てるガバナー】



【出席者の皆様(2班)】

国際ロータリー第2840地区 2009-2010年度

米山記念学友会クリスマス会開催報告

地区副幹事 大澤 孝一

12月13日(日) 12:00～14:00 ホテルメトロポリタン高崎に於いて米山記念学友会クリスマス会が盛大に開催されました。出席者は牛久保ガバナー、松倉米山記念奨学会評議員、福田ガバナーエレクトをはじめ、大路学友会会長、地区役員、米山学友会会員、米山記念奨学生の方々多数参加をして頂きました。

相澤米山記念奨学委員会副委員長の開会の言葉に続き、牛久保ガバナー、中繁米山記念奨学委員長、大路学友会会長からのご挨拶を頂き、松倉米山記念奨学会評議員より、米山記念奨学会の現況や、中国に米山学友会が結成された事、また現在の韓国駐日大使が米山奨学生だった事など、米山奨学生が、いろいろな所で活躍しているお話を頂きました。福田ガバナーエレクトの「乾杯」のご発声によりクリスマス会が始まりました。

しばらく和やかに歓談の後、米山記念奨学生と学友会会員の方々より近況報告をして頂き、奨学生は勉学に励んでいる様子、学友会の方々には仕事の事や、現在の生活についていろいろお話を頂きました。この後、ビンゴゲームで楽しい時を過ごしました。ビンゴゲームの商品を役員の皆様からご提供して頂きました。2時間の時があっという間に過ぎ、宮下米山記念奨学委員の閉会の言葉で終了となりました。



国際ロータリー第2840地区 第6分区

富岡中央ロータリークラブ ガバナー公式訪問報告富岡中央ロータリークラブ
会長 矢野 英明
幹事 富岡 隆

2009年10月29日(木)、当クラブの例会場であるホテルアミューズ富岡において、牛久保ガバナー公式訪問が行われました。当日は天候にも恵まれ、私たちクラブメンバーも緊張した中、牛久保ガバナーをお迎えしました。

牛久保ガバナーとの懇談会、そのあとクラブ通常例会、クラブ協議会に参加していただき牛久保ガバナーより決議23-34について細部にわたり解説を頂き我々会員一同今後の活動に大変参考になりました。

懇親会では多数の地区会員の皆様にご参加いただき、また地元出身の女性ジャズボーカリストの出演もあり大変にぎやかな懇親会になりました。これからの第6分区の発展を予兆させる雰囲気の中に懇談会も終了いたしました。



国際ロータリー第2840地区

群馬県ロータリークラブ ガバナー公式訪問報告

群馬県ロータリークラブ

会長 光山 喜一郎

幹事 沼田 哲博

《スケジュール》

日	時	平成21年11月5日(木)	
公式訪問前懇談会		午前11時10分～12時	パレス天武
公式訪問例会		午後12時10分～13時10分	//
クラブ協議会		午後1時20分～14時50分	//

11月5日、パレス天武にて牛久保哲男ガバナー、山崎泰男ガバナー補佐をお迎えして、約1時間例会前の懇談会を開催しました。ガバナーの所属する第二分区Bでの最初の訪問クラブということで打ち解けた雰囲気の中、色々な話題についての懇談となりました。ガバナーはクラブ現況報告書をよく目を通され、スマイルボックスの繰越が多い点など具体的な話題をとりあげ、社会奉仕への使い方や、米山奨学金、R財団などを話題にあげ、我々の理解の深まるような内容となりました。最後に会員増強について話し合いました。

例会において、ガバナーの講話を約1時間拝聴しました。会員増強、ジョン・ケニーRI会長、決議2334、ポリオプラスなどについて話されました。講話の後、ライラに参加した米山奨学生と研修生2名の参加報告がありました。

クラブ協議会では、会員増強委員長、社会奉仕委員長、国際奉仕委員長、ロータリー財団委員長、米山奨学委員長からの報告があり、ガバナーの講評をいただきました。内容が豊富で報告しきれませんが、長時間にわたり熱心にご指導いただきました。会員が増え、会が若返るよう、内容の充実したクラブ活動を行い楽しいクラブを目指して頑張る決意を新たにしたいと時でした。牛久保ガバナーに深く感謝いたします。また、随行いただきました山崎ガバナー補佐には大変お世話になりありがとうございました。



国際ロータリー第2840地区

| 伊勢崎ロータリークラブ ガバナー公式訪問報告

伊勢崎ロータリークラブ
会長 小林 孝之
幹事 中里 盛人

11月11日(水)通常の例会日に、牛久保ガバナーの公式訪問となり大変ありがとうございました。

例会前のガバナーとの懇談会を30分位行いまして、有意義な話を聞くことができ、今迄はロータリーについて余り勉強もしていませんでしたが、ガバナーの話を聞いているとだんだんと引き込まれるような、自分にもできるような気がしてきます。

クラブ協議会に入ってから、ガバナーの思いや適切なコメント又、自分の経験を基に若い頃の苦勞話しなど大変興味深く聞き入りました。そして、58%が60歳代ということで若い人の会員増強をすることによって未来が開かれること等。

伊勢崎ロータリークラブでは、増強委員を始め会員の協力のお陰で我々の年度において5名位増強予定です。頑張ります。



国際ロータリー第2840地区 第2分区B

伊勢崎中央ロータリークラブ ガバナー公式訪問報告

伊勢崎中央ロータリークラブ
会長 久保田 金次
幹事 池田 博

2009年11月12日(木) ニューいづみにて牛久保哲男ガバナー、山崎泰男ガバナー補佐による公式訪問が行われました。牛久保ガバナーにとって最後の訪問クラブとなり、山崎ガバナー補佐にとっても自クラブと言う事もあり、和やかな懇談会となりました。

前年度は会員増強11名、本年度は1名の新入会員を迎えた当クラブですが、会員増強の難しさや退会防止等の課題を、クラブ現況報告書をもとにご報告いたしました。

公式訪問例会では、牛久保ガバナーよりご講話いただきました。

アメリカへガバナー研修に行かれた時のエピソードや各地区の会員拡大の状況、ロータリー財団と米山奨学の事などを細かにご説明いただき、大変興味深いお話で、時間がたつのを忘れるほどでした。

クラブ協議会は、役員及び各委員長24名とオブザーバー6名が参加いたしました。

最初に、山崎ガバナー補佐の依頼により、会員増強委員長・社会奉仕委員長・国際奉仕委員長・ロータリー財団委員長・米山奨学委員長が、委員会報告をいたしました。



その上で、牛久保ガバナーよりご指導をいただき、また、我がクラブの広報・IT委員会で立ち上げたホームページを良くできているとの評価を頂きました。

同日に、牛久保ガバナー公式訪問5RC合同歓迎会も合わせて開催されました。今年度は当クラブが幹事クラブでしたので、親睦委員会・SAAが中心となり精一杯設営させていただきました。

牛久保哲男ガバナーをはじめ、山崎ガバナー補佐・伊能富雄地区幹事・齋藤公男地区会計長をお招きし、5RCの会長・幹事含む総勢170名が参加する盛大な会となりました。

牛久保ガバナー 47クラブ訪問お疲れ様でした。



国際ロータリー第2840地区 2009-2010年度

ローターアクト第10回地区年次大会のご案内

国際ロータリー第2840地区ローターアクト第10回地区年次大会を下記の通り開催することとなりました。

今回の年次大会は『繋がり～一人一人1つ1つすべての繋がり～』をターゲットに掲げ、昨年1年間地区活動が中止してしまいましたが、今季また1からスタートし、1人でも多くの仲間と、1つでも多くの活動に参加し沢山の繋がりを持つことで、本大会の成功を目指し準備を進めております。

記念プログラムでは、友好地区2560地区(新潟)との交流事業やクラブ報告・海外研修報告・当地区アクターの基調講演などをさせていただきます。この報告を通じて、ローターアクトクラブについて、来賓の皆様を知って頂きたいと存じます。

お忙しいとは存じますが、万障お繰り合わせの上、ご参加賜りますよう何卒宜しくお願い申し上げます。

記

1.日 時：2010年2月21日(日) 登録開始／12:00～
式典／13:00～14:00
記念プログラム／14:10～16:00
閉会式／16:00～16:10
(全体記念写真撮影・会場移動)
懇親会／16:35～18:35

2.場 所：ディラン [沼田市横塚町鎌倉1969-1 / TEL 0278-24-0222]

3.問合わせ先：地区ローターアクト代表 沼田RAC 金子朋美 [携帯 080-5505-1562]
地区年次大会実行委員長 藤岡RAC 塚本亜貴 [携帯 090-4523-9658]

2009-2010年度 国際ロータリー

『そらぷちキッズキャンプ』支援に関するお願い-1

アジア初 難病児自然体験施設『そらぷちキッズキャンプ』
支援に関するお願い国際ロータリー2510地区
2009-2010年度 ガバナー 渡邊 恭久(滝川RC)

平素は、当地区の諸事業に御支援、御協力をいただき、誠にありがとうございます。

私は、本年度RIジョン・ケニー会長の方針と姿勢を受けて、第2510地区運営の基本方針として「環境・人・子供に目を向けよう」をテーマに掲げ、全国約20万人の難病の子どもたちに夢を与える『そらぷちキッズキャンプ』を支援することを重点地区目標のひとつに位置づけ活動しております。

「外で遊びたい」それが夢だという子どもたちがいます。日本には小児がん心臓病などの難病とたたかう子どもたちが約20万人いると言われております。『そらぷちキッズキャンプ』は、そんな子どもたちが自分の体や治療のことを気にせず遊べる、特別に配慮された常設キャンプ場を、アジアで初めて(日本で初めて)北海道の大自然の中で建設・運営しています。[活動に関しては、<http://www.solaputi.jp>をご覧ください。]現在、「難病の子どもたちやその家族に対し自然体験を通じた心のケアを行う」という取り組みには、まだ直接的な行政支援はなく、必要な資金やマンパワー等は国内外の篤志家からの寄付や募金、ボランティア活動という形で集めています。

当地区では、各クラブ・各メンバーに様々な支援を呼び掛けておりますが、ぜひ各地区のロータリアンの皆様にも、各地区に暮らしている難病の子どもたちの「外で遊びたい」という夢を想像し、『そらぷちキッズキャンプ』をロータリー運動の理念に沿って支援して頂ければ幸いです。具体的には全国で約13,000店あるドラッグストア協会加盟店の募金箱を見かけましたら、「リトルドロップをしてください」と、ご家族やお知り合いの方々に声をかけてください。また、月信を通して或いはロータリアンの集う機会に呼び掛けて頂ければと願っています。

2009-2010年度 国際ロータリー

『そらぷちキッズキャンプ』支援に関するお願い-2

目 的

1) 事業趣旨

日本には小児がんなどの難病とたたかっている子どもたちが、約20万人いると言われている。しかし、国内には医療施設の整った難病児を受け入れることができる自然体験施設はなく、子どもたちは自然を体験する機会のないまま闘病生活を送っている。そらぷちキッズキャンプは、難病小児を主たる対象とする自然体験施設の運営に関する事業を行い、難病小児とその家族の「QOL(生活の質)」の向上や心のケアに寄与することを目的とする。キャンプでは、難病などの病気とたたかう子どもたちが、自然の中で、安心して、安全に楽しく過ごせるよう、特別に配慮されたキャンプ施設、自然体験プログラム、医師、看護師、ボランティアによる医療的バックアップを提供し、病気の子どもやその家族が、病気のことを忘れ、笑顔で楽しいときを過ごし、「楽しい思い出」「すばらしい仲間」「生きる力」「希望」を得ることを目指す。



2) 立ち上げの経緯

「病気とたたかう子どもたちに夢のキャンプをつくらう」という計画は、国内で活動する二つの流れが、ほぼ同時にこうしたキャンプをつくらうと動き出したことに端を発する。

1) 医療者たちの取り組み

「創る会」の会長であった故・横山清七医師(元 東海大学医学部小児外科教授)が1999年米国難病児キャンプに患児とともに参加、子どもたちが生きる実感をかみしめている様子に驚き、「ぜひ日本でも」と決意。その後、細谷亮太医師(聖路加国際病院副院長・小児科部長)が仲間の小児がん専門医らとともに実施していた「スマートムンストーンキャンプ」に参加する。(「スマートムンストーンキャンプ」は、小児がんを告知された子どもたちが参加するキャンプで、1998年から毎年、キャンプ地を固定せず日本各地の既存施設を利用し実施。)そして2003年横山医師は、自身が会長となった第19回日本小児がん学会で、キャンプを中心にした子どものQOL(生活の質)向上をテーマに掲げ、その重要性を全国に発信した。

2) 公園づくりの専門家たちの取り組み

松本守氏(元 国土交通省審議官)、浅野朋世氏(東京農業大学園芸療法学教授)が「バリアフリーの公園という考え方を超えて、病気の子どもの幸せをサポートすることができないか」と考えるようになり、2002年に米国難病児キャンプを視察後、豊かな自然環境がある北海道滝川市やその関係者とともに実現に向けて動き出した。このような思いを同じくする2つの取り組みが重なり、日本で初めて、病気とたたかう子どもたちのため特別に配慮された常設のキャンプ場づくりが、実現に向けて進み始めたのです。

いままでとこれから

2004年3月に設立した「そらぷちキッズキャンプを創る会」は、これまで次のような取り組みを行ってきた。まずは多くの人にこの計画を知ってもらうため、学会や様々なイベントでの広報、テレビや新聞を通じた発信を行い、またキャンプイメージの共有やプログラム、医療支援体制等の検証を行うため、実際に難病の子どもを招待して、プレキャンプを計9回行った。

あわせて、北海道連絡所の開設、滝川市との建設推進に向けた合意書の調印、1億7千万円の高原基金助成の獲得、米国キャンプとの提携などを実現させてきた。

2007年度には、専用施設の建設工事を一部開始し、それにあわせて専任スタッフを一人常駐させた。2008年度にはキャンプ場を運営する組織として一般財団法人を登記。2009年度には一部施設利用を開始し、その後は資金状況、整備状況にあわせて、本格的な開園をする予定である。



●中期目標

- 開園まで(～2008年度)
 - 様々な試行実験を行い、事業やプログラムを検証するとともに、運営組織の充実を図る。
 - 開園初期の利用者側にアプローチし、利用者誘致の調査及び宣伝活動を行う。
- 開園(一部)(2009年度～2013年度)：開園初期
 - 活動や場所のイメージを活かし、積極的な広報を展開する。
 - 理念の骨格となる事業・プログラムを着実に実施する。
- 開園5年目以降(2014年度～)：展開期
 - 運営組織の体制(有償スタッフやボランティアの増員等)を強化する。
 - 理念を保持しながら、様々な事業・プログラムを展開(リピーターの確保)する。
 - 経営の効率化を進め、持続可能なものに改善する。(地域への展開を検討)



2009-2010年度 国際ロータリー

『そらぶちキッズキャンプ』支援に関するお願い-3

自然体験プログラムについて

①対象とする子ども

難病などの病氣とたたかう子ども（血液、循環器、免疫不全、肝不全などの疾患）

- ・日本の子どもの難病は、500種類を超え、20万人以上の子どもが患っている。
- ・アジア初の施設となるため、対象は日本だけでなく、アジアの子どもも想定する。
- ・対象病種は限定しないが、キャンプ参加可能とするためには、専門の医療体制（専門の医師、看護師等）の構築が不可欠となる。
- ・キャンプ毎に、様々な条件を設定することになるが、できる限り広い範囲で募集を呼びかける。
- ・各キャンプに参加する子どもの選定は、医師や看護師、外部の医療専門家等で構成される医療専門委員会を設置し、医療面、安全面、各キャンプの目的などを踏まえ、キャンプ毎に委員会が決定する。



②提供プログラム

A. キッズキャンプ（子どものみの参加。3泊4日程度。基本的に付き添いなし。）

- 対象：難病などの病氣とたたかう子ども 人数：最大50名/回
- 年齢：6歳～18歳（小学生～高校生） ※キャンププログラム毎で弾力的に設定する
- 時期：夏、冬など長期滞の参加が可能な時期 3泊4日程度

B. 週末家族キャンプ（家族単位。週末1泊2日。道内、小学校低学年を対象。）

- 対象：難病などの病氣とたたかう子ども 人数：最大10家族/回
- 年齢：制限なし
- 時期：夏、冬だけでなく、春、秋も含めた週末などの休日 1泊2日程度

※以下は、展開期以降に実施を検討する事業

C. きょうだい児キャンプ（病氣とたたかう子どもの兄弟、姉妹を対象。）

D. グリーフケアキャンプ（亡くなった子どもの保護者を対象。）

E. 統合キャンプ（病氣とたたかう子どもと健常児（地元小学校等）を対象。）



活動の全体について

◎難病小児等のための自然体験活動に関する啓発・普及

難病小児やその家族の現状、自然体験活動の意義など、様々な機会にて情報発信し、積極的に啓発・普及活動を行う。具体的には、以下。

- ・キャンププロモーションビデオの製作、配布
- ・パンフレット、ニュースレター等の製作、配布
- ・ホームページの作成、運用
- ・市民向け活動報告会やフォーラム、シンポジウムの実施
- ・チャリティイベント（コンサート等）
- ・全国各地でのセミナーなどの開催（キャラバン活動）

◎難病小児等のための自然体験活動に関する調査及び研究

そらぶちキッズキャンプの事業に活かし得る調査及び研究を行う。具体的には、キャンプ参加者の心や身体の変化、ボランティア等の意識の変化等を調査し、キャンプの効果について医療関係の学会や野外教育等の学会で発表する。

◎自然体験施設の貸与

収益事業としての位置づけとなるが、難病小児等の自然体験活動を実施していない期間については、敷地内を一般供用するとともに、宿泊施設等については、他団体等の利用のため施設を低廉な料金で貸与する。貸与については、地元福祉団体、児童等を優先する。

◎農産物および加工品等の販売

収益事業の位置づけで、地元農家等の協力を得て、地域特産品のチャリティ販売を行う。

◎生活雑貨用品の販売

収益事業の位置づけで、Tシャツやはがき等のオリジナルグッズを製作し、チャリティ販売を行う。

◎ロイヤリティ事業

収益事業の位置づけで、他団体の様々な製品に、そらぶちキッズキャンプのロゴマークを使用した場合について、使用料を徴収する。



ロータリーカード入会のお願い

第1ゾーン・カード・コーディネーター
久世 晴雅 (2770.PDG)



財団活動にこの一枚。
～毎日のお買い物や公共料金のお支払いで、財団活動に貢献できます～

Rotary International Gold MasterCard Rotary International Standard MasterCard

カードショッピングご利用金額の0.3%を財団に寄付
ロータリーゴールドカードの年会費10,500円のうち、3,000円が財団に寄付
貯まったポイントで財団への寄付が可能

オリコカードポイントサービス「暮らしマイル」業界最高水準のポイント還元率	便利なキャッシングサービス
海外・国内旅行障害保障最高5,000万円	カード年会費は永年無料
ショッピングガード年間最高補償額300万円	海外旅行障害保障最高2,000万円
空港ラウンジサービス	国内旅行障害保障最高1,000万円
オリコゴールドデスク	海外デスク
紛失・盗難保障	海外お土産宅配サービス
ゴールドカードロードサービス	

「ロータリー インターナショナル ゴールド マスターカード」の申し込み 「ロータリー インターナショナル スタンダード マスターカード」の申し込み

ロータリーカードは財団活動を支援する唯一のオフィシャルクレジットカードです。

<http://orico.jp/rotary>

ロータリーカードの特典の詳細や入会申し込みはこちらをご覧ください。

新入会員紹介



一守 和子
前橋北RC

入会日：2009年10月5日
職業分類：不動産管理業
勤務先：一守商事(有)
役職：代表取締役
推薦者：廣山 武雄



新井 健一
富岡中央RC

入会日：2009年10月29日
職業分類：郵便局
勤務先：郵便局(株) 羽生郵便局
役職：局長
推薦者：勅使河原 正己



八木原 勇治
前橋北RC

入会日：2009年11月2日
職業分類：森林業
勤務先：群馬県森林組合連合会
役職：代表理事専務
推薦者：富岡 政明



森 美幸
前橋西RC

入会日：2009年11月6日
職業分類：医療器具販売
勤務先：(株)補聴器プラザ群馬
役職：専務取締役
推薦者：数納 篤紀／渡邊 繁男



武井 環
前橋中央RC

入会日：2009年11月30日
職業分類：保険業
勤務先：ソニー生命(株) 群馬支社
役職：ライフプランナー
推薦者：中島 次夫

2009-2010年度

地区主要行事一覧

牛久保年度			
	開催日	項目	場所
2009年	11月17日・18日	ロータリー財団地域セミナー(ゾーンセミナー)	東京
	11月19日・20日	ロータリー研究会	東京
	11月21日～23日	ローターアクト海外研修	中国、上海
	12月13日(日)	米山学友会クリスマス会	ホテルメトロポリタン高崎
	12月20日(日)	青少年交換委員会(クリスマス会)	クレインパーク 山楽荘
	12月20日(日)	青少年交換委員会(1年交換学生選考会)	クレインパーク 山楽荘
	12月30日(水)	地区補助金申請締め切り	
2010年	1月 9日(土)	第3回 ガバナー諮問委員会 GE壮行会	ホテルメトロポリタン高崎
	1月17日(日)	米山奨学生選考会	前橋ホテル
	1月31日(日)	R財団・地区補助金審査会	クレインパーク 山楽荘
	2月20日(土)	米山奨学生修了式・奨学生歓送会	クレインパーク 山楽荘
	2月21日(日)	ローターアクト年次大会	沼田 ディラン
	3月25日～28日	インターアクト海外研修(2560地区共同事業)	台湾4日間
	4月17日(土)	地区米山カウンセラーセミナー・オリエンテーション	前橋ホテル
	4月23日～24日	インターアクト海外研修受入交流(2560地区共同事業)	
		第4回 ガバナー補佐・委員長合同会議	クレインパーク 山楽荘
	6月 5日(土)	米山奨学会学友会総会	ホテルメトロポリタン高崎
	6月12日(土)	第4回 ガバナー諮問委員会(牛久保事務所主催)	クレインパーク 山楽荘
	6月12日(土)	新旧地区役員連絡会議(牛久保事務所主催)	クレインパーク 山楽荘
	6月20日～23日	国際大会	モントリオール
		R財団への地区補助金報告書締め切り	
	8月	会計監査報告	

※変更もございますのでよくご確認ください。

2010-2011 / 福田年度 地区主要行事一覧表(案)

	開催日	項目	場所
2010年	1月10日	ガバナー補佐・委員長予定者懇談会	ちぎらホテル
	2月14日	地区チーム研修セミナー	群馬会館
	3月13日・14日	会長エレクト研修セミナー(PETS)	伊香保 福一
	3月27日	幹事エレクト研修セミナー(PETS)	ちぎらホテル
	4月18日	ガバナー補佐・委員長合同会議(地区協準備・他)	ちぎらホテル
	5月 9日	地区協議会	ロイヤルチェスター
	6月 6日	ガバナー補佐会議AM・地区会員増強セミナーPM	群馬ロイヤルホテル

※変更もございますのでよくご確認ください。

2009-2010年度

周年行事予定クラブ

国際ロータリー第2840地区				
年度	クラブ名	周年	予定日	開催場所
2009-2010	伊勢崎南	30	2010年 2月 7日(日)	プラザ・アリア
2009-2010	前橋南	25	2010年 2月11日(木)	前橋ホテル
2009-2010	館林ミレニアム	10	2010年 3月 7日(日)	館林市 ジョイハウス
2009-2010	群馬境	40	2010年 4月24日(土)	クレインパーク 山楽荘
2009-2010	高崎東	30	2010年 5月16日(日)	グランドパティオ高崎
2009-2010	安中	45	2010年 6月 6日(日)	ホテル磯部ガーデン

| 文庫通信 (267号)

このたびは昨年度の会計報告をさせていただきます。
今後ともロータリー文庫をご活用くださるようお願い致します。

ロータリー文庫 2008～2009年度会計報告

(貸借対照表)

資 産		負 債	
現 金	42,120	社会保険料預り金	153,202
普通預金	8,234,480	雇用保険料預り金	46,162
定期預金	0	負債合計	199,364
現預金合計	8,276,600	正 味 財 産	
仮 払 金	376,380	次期繰越剰余金	8,453,616
合 計	8,652,980	合 計	8,652,980

(収支計算書)

収 入		支 出	
会費収入	23,296,150	委員会費	1,398,642
雑 収 入	135,137	業 務 費	9,419,017
		賃貸管理費	9,472,613
		人 件 費	7,651,068
		予 備 費	0
当期合計	23,431,287	当期合計	27,941,340
前期繰越収支差額	12,963,669	当期収支差額	△4,510,053
収入合計	36,394,956	次期繰越収支差額	8,453,616

ロータリー文庫

〒105-0011

東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階

TEL.03-3433-6456

FAX.03-3459-7506

URL. <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館:午前10時～午後5時／休館:土・日・祝祭日

第2840地区

11月 出席報告

クラブ数	会員数				
	月初	月末	純増減会員数	女性会員	当月出席率
47	1,993	1,996	+3	75	84.84

クラブ名	例会数	出席率 (%)	会員数				
			月初	月末	増減	女性	
第1分区	前橋	3	91.35	105	105	0	3
	前橋西	4	87.61	58	59	1	5
	前橋東	5	86.74	64	64	0	3
	前橋北	3	86.81	51	52	1	4
	前橋南	4	81.06	33	33	0	1
	前橋中央	4	81.82	34	34	0	6
	合計		85.90	345	347	2	22
	第2分区	桐生	4	85.63	64	64	0
伊勢崎		4	97.51	67	67	0	0
桐生南		4	80.47	32	32	0	2
群馬境		3	89.25	38	38	0	1
桐生西		4	93.37	49	49	0	0
伊勢崎中央		3	81.00	66	66	0	2
伊勢崎南		4	71.53	36	36	0	1
桐生中央		4	77.00	25	25	0	3
伊勢崎東		4	90.44	34	34	0	3
桐生赤城		3	85.31	40	39	-1	3
合計		85.15	451	450	-1	15	
第3分区	高崎	4	89.55	67	67	0	0
	高崎南	3	87.30	61	63	2	4
	高崎北	4	71.75	67	67	0	0
	高崎東	4	79.67	42	42	0	1
	高崎シンフォニー	4	87.18	39	40	1	3
	高崎セントラル	3	92.92	35	35	0	0
	合計		84.73	311	314	3	8

クラブ名	例会数	出席率 (%)	会員数				
			月初	月末	増減	女性	
第4分区	太田	4	87.33	75	75	0	2
	館林	4	86.54	55	55	0	0
	大泉	4	82.03	38	38	0	3
	太田西	4	88.19	23	23	0	1
	太田南	3	83.62	45	45	0	0
	館林西	3	83.34	19	19	0	0
	新田	4	86.96	26	26	0	0
	館林東	4	82.00	27	27	0	2
	太田中央	4	91.31	46	45	-1	2
	館林ミレニアム	4	91.66	21	21	0	0
合計		86.30	375	374	-1	10	
第5分区	渋川	4	96.28	65	65	0	2
	沼田	3	85.78	56	56	0	0
	草津	4	78.85	26	26	0	2
	水上	4	100.00	7	7	0	0
	中之条	3	95.45	26	26	0	1
	沼田中央	4	81.38	53	53	0	0
	渋川みどり	3	81.66	35	35	0	2
	合計		88.43	268	268	0	7
	第6分区	富岡	4	89.58	49	48	-1
藤岡		4	84.58	50	51	1	2
安中		4	75.00	25	25	0	0
藤岡北		3	66.66	17	17	0	2
富岡中央		3	88.80	42	42	0	0
碓氷安中		4	71.15	16	16	0	2
藤岡南		4	78.34	15	15	0	2
富岡かぶら		3	75.87	29	29	0	1
合計			78.75	243	243	0	13